

ごあいさつ

～時間ゆたかに流れ 暮らし潤う創造都市 橋本～ の実現に向けて



橋本市は和歌山県の北東端に位置し、市内中央部を母なる川「紀の川」が悠然と流れ、緑豊かな山々に囲まれた人口約7万人の田園都市です。

平成18年3月1日に橋本市・高野口町との合併により誕生してから3年目を迎え、本市はいよいよ将来に向かって大きく飛躍しようとしています。

しかしながら、地方自治体を取り巻く環境は、本格的な少子高齢化、地方分権型社会の到来、さらには安全・安心、環境、教育の問題を抱える一方、税収入の減少など厳しい財政状況に直面しており、このことは本市の場合も例外ではありません。

このような時代にあって、市民のみなさまにとっては「このまちに住んでよかった」、本市を訪れた方々にとっては「このまちに住んでみたい」と思っただけのまちづくりを積極的に進めてまいりたいと考えております。このたび、この思いを実現すべく本市の将来を指し示す羅針盤として「橋本市長期総合計画」を策定いたしました。

本計画は、合併にあたり策定された「新市まちづくり計画」の趣旨を尊重しながら、本市の将来像やまちづくりの基本目標、また具体的な施策の方向などを定めた、最上位計画となるものです。

本計画では、本市の市民憲章より導き出した3つの視点「ふれあいを深める視点」「環境と共生する視点」「個性を活かす視点」より、まちづくりの基本理念を「ひと・自然・歴史を活かし豊かさを高めるまちづくり」と定め、その理念に基づき本市の将来像を「時間ゆたかに流れ 暮らし潤う創造都市 橋本」と掲げました。

今後は、この将来像の意味を市民のみなさまと共有し、互いに手を携えながら、新しい橋本市の実現に向け、全力をあげて取り組んでまいります。

最後に本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご指導をいただきました橋本市長期総合計画審議会委員や市議会議員のみなさまをはじめ、市民意見公募などを通じて様々なご意見・ご提案を賜りました市民のみなさまに厚くお礼を申し上げますとともに、本計画の実現に向けて、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成20年3月

橋本市長 **木下善之**